

ウイズダム・マネジメント、知恵による問題解決の方法の確立 Establishment of Wisdom management methodology and Problem solving by Wisdom

江崎通彦 DTCN インターナショナル Inc. esaki@dtcn-wisdom.jp

要旨:筆者は1976の差の情報による意思決定のメカニズムから始まり2012までの間に、最新の Wisdom Management methodology、Problem solving by wisdom、までの方法を確立した。

本発表は、その間の経過を少年時代からさらにその見通しを一覧表(図表3)にして報告するものである。表記の方法の名前を、インターネットで探索していただければ、検索結果が相当の数(2011-9~2012-9の一年間で約60,000件)、見られます。著作者の Michihiko Esaki のままで、Free PDF の資料でも、相当数が Web 上で紹介されている。

本要旨と本文は本文中にあるいくつかの内容をリンクした形で、<http://dtcn-wisdom.jp/J/1-4gakkai.pdf> からダウンロードで見ることができます。

Abstract: The author established Wisdom Management methodology and Problem solving by wisdom at 2012, after presenting the method of decision making for management by information of deference at 1976.

This paper shows the brief explanation of “Wisdom Management methodology and Problem solving by wisdom”.

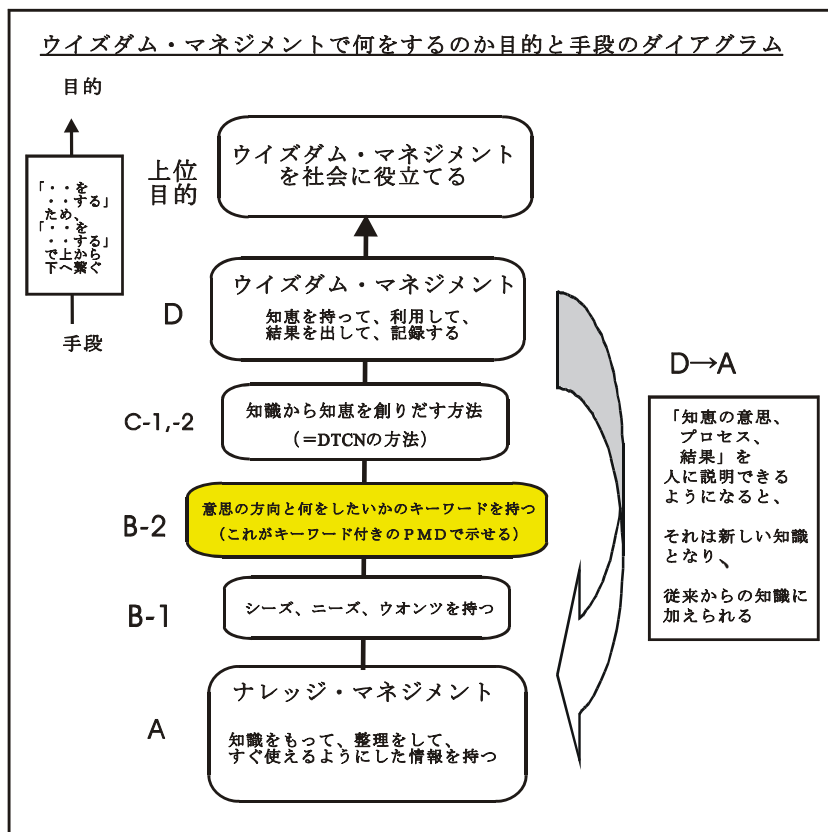
These papers were already released at WEB site of Wisdom Management methodology and Problem solving by wisdom. And already about 70,000 access for recent one year from all over the world.

The same content of this paper can be down loaded at <http://dtcn-wisdom.jp/J/1-4jasmin.pdf> by linking necessary contents which are needed to understand the methodology contents.

本 文

ウイズダムマネジメントとナレッジマネジメントの関係を図表1に示す。

図表1 ウイズダムマネジメントとナレッジマネジメントの関係



また、テーラーの科学的管理手法(1910)からウイズダムマネジメント(2012)までに登場したコストを含む科学的管理手法の流れは図表2に示す。

更に図表3にはウイズダムマネジメントの方法が出来上がるまでの経過(少年の夢の実現)を示す。

図表4には、従来の提案営業I、報・連・相だけの営業II、問題解決型の営業III(新しい問題のときは、IIIは原因分析のところで、それが邪魔になって引っかかる)、KJ法型の営業IV、PMDから入るDTCN型営業Vの比較を解説。そして、図表5 問題解決法は現

状復帰型、課題実現は上位目的から全体を鳥瞰し、目的の結果を実現可能な範囲で最適化をする方法となることを説明している。

結果として、Wisdom Management methodology、Problem solving by wisdom を使えば、課題を実現し問題解決もできる。

図表 2 テーラーの科学的管理手法以来のコストを含む科学的管理手法のからウイズダムマネジメントまでに流れ

手法の使える フェーズ (年)	ライフサイクル					各管理法の概要
	予算配分	構 想	開発・設計	生 産	運 用	
1910 (明治 45)				科学的管理法 標準時間法 (IE)		現場の割付管理に有効
			フレデリック・テーラー、ヘンリー・フォード			
1950 (昭和 25)				VA/VE		ものの機能の見直しから 入るため IE より効果が大きい
			ローレンス・マイルズ			
	PPBS					予算配分の総合管理段階
1960	ランド社開発: マグナマラ長官採用				QC	品質管理: PDCA サイクルが基本
				日本企業		
				PERT COST		スケジュール管理の結合
			US Navy			
1970		DTC 概念				デザイン・ツー・コスト: 目標値を 設けて設計するという概念
		DOD 通達 5000.1/5000.28				
		LCC 概念				ライフサイクルコスト: DTC を ライフサイクル全体にまで拡大
1976		"差の情報"による意思決定・判断のメカニズム論文発表				江崎通彦が日本能率大会にて発表。 以降、すべての技法に影響を与えた
1978		DTC の新しい考え方とその手順 (後方支援にも適用)				DTC, LCC では未完成であった 手順を完成
		川崎重工での BK-117 ヘリの開発に適用				
1979 ~1999	新プロジェクト管理の方法: DTCN/DTC の新しい考え方とその手順 防衛庁 (XT-4 開発に初めて公式適用) → H2 ロケットの開発 テーマ創出段階より 利用できる					情報収集とソフトウェア・ イニシヤティブ・ インテグレーションにまで拡大 (出版物としては 1997)
1984					TOC	制約理論: 部分最適より 全体最適の管理へ
				エリヤフ・ゴールドラット		
1999	知識から知恵を創りだす方法 (DTCN の方法) の考え方とその手順 朝日大学大学院・ソフトピアジャパン共同開発					いわゆる情場 (情報の場) を 創りだした
2010	PM を SE との関係、WBS の再定義、営業のブラックボックス解消 『WBS の再定義とその使い方』出版					従来の WBS の方法では解決 していなかった部分を解決
2011	過去分析・未来分析・現在分析の考え方 江崎通彦・創造学会誌に発表					PMBOK, BABOK, SE の要求 分析の方法を未来分析にした
2012	知識から知恵を創りだす方法によるウイズダム・マネジメントの方法					従来の問題解決、課題実現の 方法すべてを包含する

1976 の差の情報による意思決定・判断のメカニズム以降、ゴールドラットの TOC 以外の方法は、筆者が開発しています。

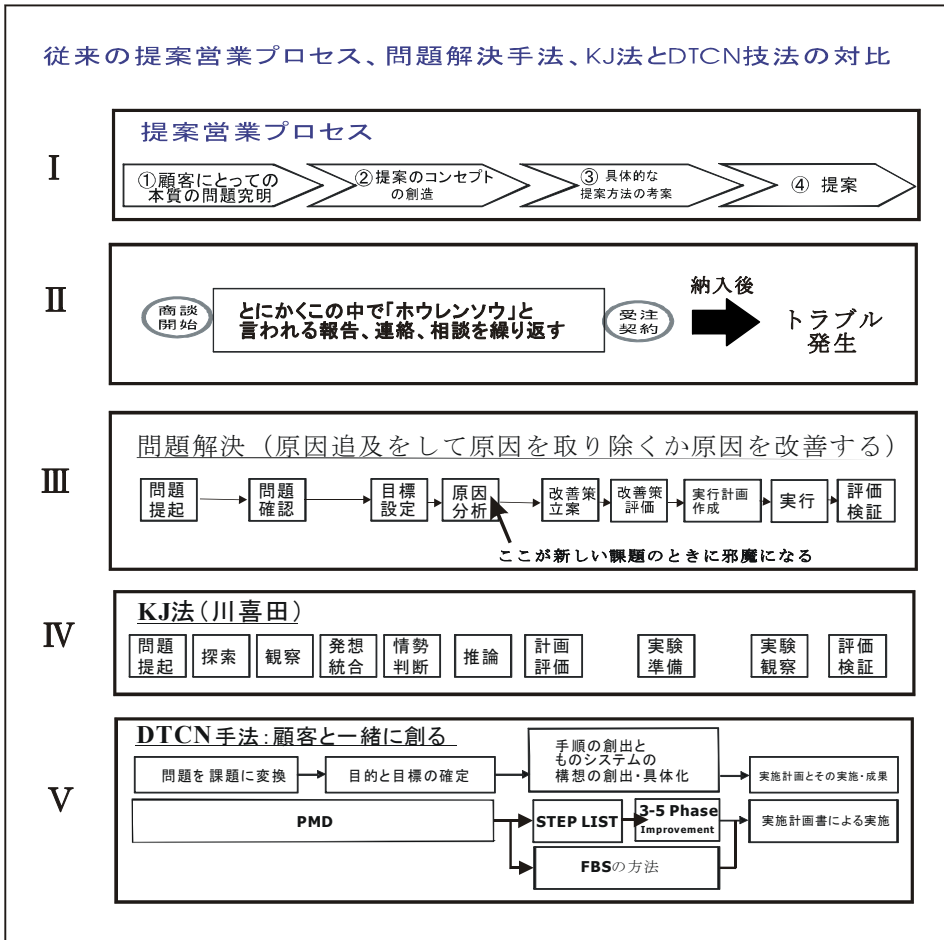
[新プロジェクト管理の方法の内容](#)は、ここをクリックすれば、その用の全部をダウンロードできます。

図表 3 ウィズダムマネジメントの方法が出来上がるまでの主な経過 (少年の夢の実現)

時期	関係機関	プロジェクト	手法	内容	そこで何を学んだか (大切な要点)	
1	1938 頃	幼稚園時代	少年の夢のスタート	少年の夢は実現する	名前が、みんなが通る道を開くという 意味で、通彦という名前をもらった	支那事変がはじまっていたので、航空機に関する技術者はなれば戦地へ行かなくてすむ と考え、航空機の技術者になろうと思った
2	1951~1955	大阪大学造船工学科	勉学		何になるかを目指して勉強	目標は、よい航空機の技術者になることを誓い、それを初志の人に宣言した。
3	1955	川崎航空機機に入社	少年の夢の実務にお ける実現のスタート	なんでも進んで体験を する	ウィズダムマネジメントの基礎にな る知識と知恵の基本を身につけるこ とができた	航空機に関しオールラウンドプレーヤーになろうと思い、いくつかの職場を回してもらえ るように申し出て、結果的には 36 年間の勤務期間のうちに 32 箇所の違う業務を体験 することになった (平均 1.3 年ごとに 1 か所)
4	1976	川崎重工	ステップリストマネ ジメントの方法の論 文発表	段階的意思決定の方法 のスタート		① この時点では、PMD の方法の発見はまだであったが このステップリストが起点となり、差の情報による意思決定・判断のメカニズムが見え 始めてきた。
5	1976、1977	川崎重工	差の情報による意思 決定の論文発表	段階的意思決定はどの よに意思決定をするか	差の情報があれば、意思決定・判断が できる。日本能率大会	この時の世間の評価：1976 年の発表には興味を示した人は少なかったが、1997 の英文 による発表は、 雑誌 IE10 月号に評価が載った
6	1979	米国 VE 協会	DTC 手法をワシントン D.C で発表	デザイン・ツアー・コスト の考え方とその手順	これで、次期中等練習機に公式適用の チャンスを創った	それまで開発したステップリストの方法、デザインツアーコストの方法は日本文化と、西 欧文化を繋ぐ言葉であり地図であることを認識した、米国陣からも出た評価であった。
7	1981~ 1988	防衛庁、川崎重工、 三菱重工、富士重工、 その他装備品各社	防衛庁新中等練 習機 XT-4 の開 発	PMD 量産単価の DTC、RO メソッド等	開発コスト、量産コスト、性能、スケ ジュール、信頼性ともに目標値達成	この時、得られたこつ、ノウハウ ① 途中の外部評価 (マネジメント年報 (1982)) ② WBS フェージングテクニック誕生
8	1984~ 1986	宇宙開発事業団及び 関係各社 (重工業~ 電子関係)	H-2 ロケットの 開発、宇宙衛星 の開発	PMD 量産単価の DTC、RO メソッド等	開発コスト、量産コスト、性能、スケ ジュール、信頼性ともに目標値達成	① NASDA-STD-4 デザインツアーコスト実施標準 を作成。 ② このとき宇宙開発事業団は、各企業に対し、 第 5 条のある取引基本契約書 を結んで いなかった。
9	1987~ 1989	宇宙開発事業団 情報システム室 (嘱 託)	総合ソフトウェア開 発の初期におけるカ オス状況からの脱出	PMD、DTCN ステッ プリスト、 3-5 フェーズインプ ループメントの方法	1. 新世代・統合のソフトウェア構築時 の初期混乱の脱出の方法とその整 備 2. 上記に基く長期構想書作成の支援	この時、得られたこつ、ノウハウ ① 左記のようなソフトウェアの開発初期に発生する超すの状態から脱出するため には、PMD の方法と 3-5 フェーズインプルーメントとステップリストの方法がきわめ て有効であることが、鮮明になった。
10	1999	朝日大学大学院情報 管理学研究科プロジ ェクト管理研究室、 教授	知識を知恵にかえる 方法 ウィズダムエンジン	PMD/DTCN/DTC	大学院生、井波利彰と共同開発 (岐阜 県ソフトピアよりの委託研究)	この時に得られたノウハウは下記の文書により公表されている。 ① 新プロジェクト管理の方法 (アスキー出版) ② Advanced Project Management Methodology (ASI) ③ 知識を知恵にかえる方法 (ソフトピアジャパン、岐阜県)
11	2008	DTCN インターナシ ョナル Inc. (有)	知識から知恵を創り 出す方法	DTCN/DTC	本の出版	課題を実現する革命的なもの・システムつくりの方法—知識を知恵にかえる方法—
12	2010	DTCN インターナシ ョナル Inc. ((有)	PM と SE が困ってい た WBS の問題解消	DTCN/DTC	本の出版	WBS の再定義と使い方 これによる外国で発表されている WBS の作り方に不足しているところをこの本でほぼ全 面的に補完。2013 年には英語版を出版予定
13	2011	個人論文	日本創造学会	PMD、RCD、DRCD	論文 分析をしようと言うことは何をしさえ すれば、分析をしたことになるか	分析とは最初に意思があり (自然にも自然の法則という意思がある) その意思を実現す るプロセスがあって初めて結果の構造・構成ができあがるので、分析はこの 3 つ視点で 要素を分解する必要がある (従来方法ではただ要素をバラバラにすることだけを教えて きた)
14	2012	DTCN ウィズダムマ ネジメント研究所	ウィズダムマネジメ ントの位置づけ	知識から知恵を創りだ す方法	DTCN 手法によるウィズダムマネ ジメントとナレッジマネジメントの 結合	知識から知恵を創り出す方法によるウィズダムマネジメントの視点を確立 Wisdom management methodology、Problem solving by wisdom、Method for creating wisdom from knowledge として先行公開を WEB 場に行ったところ、1 年間で、世界中 から、約 50,000 件のアクセスがあった (2012-9 月末現在)。
15	2012 年末まで の予定	個人	知識から知恵を創りだ す方法の出版	出版プロジェクト	具体的事例として、大竹芳和、渡辺武 久氏などによる成果実例をいれる	ウィズダムマネジメントを始め、 初版 1997 以降に見つけて知見を追加して DTCN 編として出版予定 まえがき (案) 案を示した。 これをもとに、DTCN 協会を設立する予定。

16	2013 以降	何らかの機関 候補募集中	Wisdom Management methodology	何らかの新しいプロジ ェクト	世界中の学校、大学で、卒業前に、左 記の方法を教えられるようにする。	「知識から知恵を創り出す方法と Problem sloving by wisdom の方法」の知識を身に付 けた人材を社会に送りだし、世の中のよい発展を合理的な方法で実現する。
----	---------	-----------------	----------------------------------	-------------------	---------------------------------------	---

従来の提案営業プロセス、問題解決手法、KJ法とDTCN技法の対比

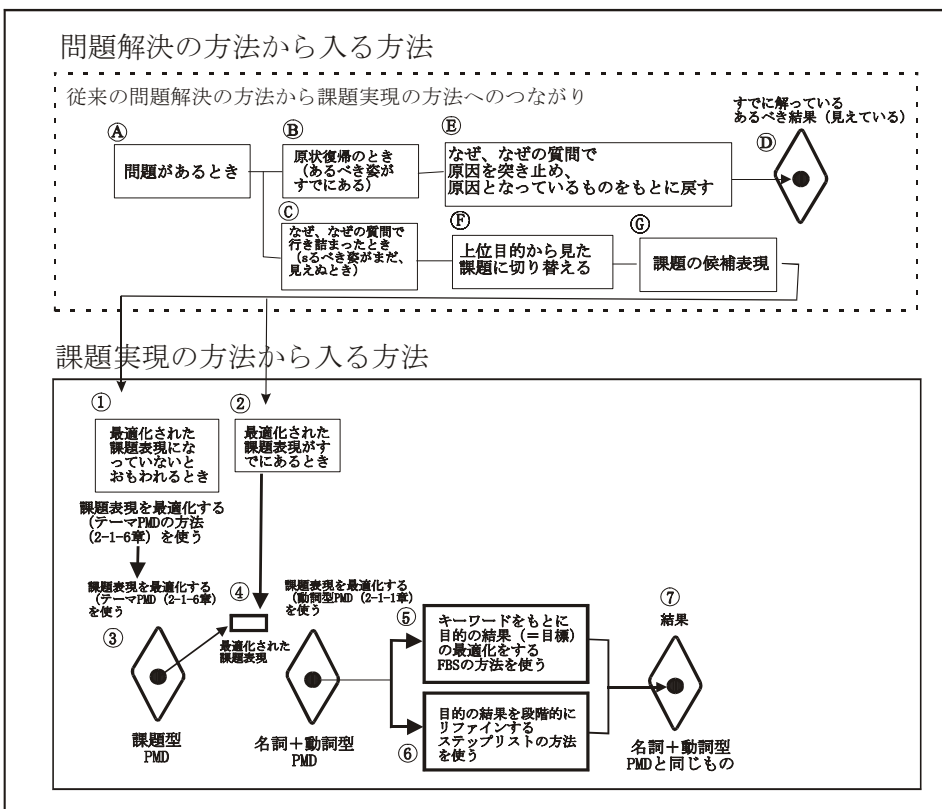


図表 4 従来の提案営業Ⅰ、報・連・相だけの営業Ⅱ、問題解決型の営業Ⅲ、KJ 法型の営業Ⅳ、PMD から入る DTCN 型営業Ⅴの比較

新しい問題のときは、Ⅲは原因分析のところで、それが邪魔になって引っかかる
 図Ⅲの中の矢印部分。

原因分析で、なぜ、なぜの質問が始まると、あるべき姿が見えなくなってしまいます。
 詳細は、文献[1]を見ること

課題実現の方法と問題解決の共存



図表 5 問題解決法は現状復帰型、課題実現は、上位目的から全体を見渡し、目的の結果を実現可能な範囲で最適化をする方法=ウィズダムマネジメントの方法を使えば、それができる。
 参考文献[1]より引用

参考文献
 [1] 江崎通彦：[知識から知恵を創り出す方法のまえがき](#) (2012)
 [2] 江崎通彦：[分析をするということは何をしさえすればよいのか](#) (2011、日本創造学会会誌)